

## ■シロアリについて勉強しよう■ 白井 淳成

開催日時：2019年7月26日（金） 開催場所：市川市中央公民館2・3会議室 参加人数：会員16人

事業委員会主催の勉強会では講師に支部会員の小泉雄揮さん（株式会社アイジーコンサルティング）を迎え「シロアリについての勉強会」が開催されました。小泉さんの流暢なトークに、出席者の皆さんは「シロアリの世界」にどんどん引き込まれていきました。気が付くと住宅の床下に潜り込んでいる錯覚になっていて、蟻道を探しているような気分になっていました。シロアリは蟻の仲間ではなく、ゴキブリに近いということ知っていましたか？そして意外に多くの家がシロアリにやられている実態にもびっくり。まだまだ知らない建築の世界があるようです。毎回いろいろなテーマで開催される勉強会を楽しみにしています。



## ■納涼ボウリング大会■ 堀川 成良

○開催日時 2019年8月4日（日） ○開催場所：本八幡スターレーン&パーティールーム ○参加人数：大人16名、子供8名

夏の恒例行事に定着してきた納涼ボウリング大会。年々家族の参加が増え今年ではちょうど家族と会員が半数ずつの参加となりました。毎年商品が中々良い為に熱く盛り上がりませんが、今年は男子の部が岡田さん、女子の部で私の妻が優勝してしまった為に記事を担当する事になりました。以下妻からコメントです。「一年に一度市川・浦安支部の皆様と一緒にボウリングをすることを子供達も楽しみにしています。お陰様で年末に家族でディズニーランドにいかせていただきます。ありがとうございます。」ということで行って参ります。来年は是非あなたがゲットして下さいませ。



## ■かあちゃんはおめーさ 美味しいもん 食わせてえ 2019夏■ 小沢 桃子（船橋支部）※食い意地は支部を超える委員会

○2019年7月21日（日） ○開催場所：伊藤遊船（妙典） 参加2名 ○親睦会参加：支部1名、他支部2名（会場：ワインバル BAN-YA）

支部釣りの企画で、開催主旨はジモトで有志と釣りを楽しみ、またその日に釣った鯿を美味しく食べながら、地域・世代を超えたコミュニティ形成を図る。食文化と共に地域文化が育ち、志縁形成が促される事を体感するというもので、釣り船には支部会員2名が参加。

市川・浦安支部釣部部長佐々木さんからの「今日釣った鯿を美味しく食べられる」との連絡に、「それは我が子に食べさせなきゃ！」と、細かい事は考えず親子で参加。「食べ物が採れた（＝魚が釣れた!）」との情報に人が集まり、飲んで食べて会話も弾む。その事自体が地域文化、コミュニティ形成・志縁・まちづくりの原点とも言える。食材は採れたてが美味しい。ご飯は会話を楽しみながら、笑いながら、みんなで食べると美味しい。採って、作って、食べて、笑う。楽しい事、大変な事、嫌な事をもみんなと一緒に体験共有する。そんな、シンプルな事から何かが始まっていくのだろうとの思いを馳せながら。ごちそうさまでした！



## 千葉県建築士会 市川・浦安支部 広報誌

http://www.kenchiku-ichikawa-urayasu.com/ 2019.12 発行

## ■建築士の日記念事業を開催■ 岡田 栄一 『7月1日は建築士の日』 コルトンタワー、住宅相談ともに大盛況！！

○開催日時：2019年6月30日（日）  
○開催場所：ニッケコルトンプラザ



7月1日の建築士の日を一般の方々に知ってもらう為の企画で、ニッケコルトンプラザにて「みんなのコルトンタワーをつくろう！」と「住宅相談会」を開催。今回のコルトンタワーは、東京造形大学や千葉県立市川工業高校の学生さんや先生方の御協力のもと、小学生以下の子供たちが段ボールにそれぞれ思い思いの絵を描いたり切り込みや穴を開けたりした物を積み上げるといった企画。当日はあいにくの雨天で始めはスロースタートでしたが、タワーが高くなるにつれて子供たちも吸い寄せられるように受付へ…。なんと幅2m50cm高さ4m15cmと大作が完成しました！完成後、タワーの前でみんなそろっての写真撮影では、誇らしげな子供達の笑顔が印象的でした！！最終的にはコルトンタワーへの参加人数が89名と大盛況♪

住宅相談会では、コルトンタワーに子供たちが夢になって手持ち無沙汰の大人の方々に積極的に声をかけさせていただきました。その積極さのおかげで、日頃の家の悩みを建築士に相談できることもあり、こちらも前回の相談件数8件を上回り11件と賑わいました。相談内容は、屋根や外壁のメンテナンスの方法や時期、周囲への防音対策やシロアリ防除の相談と多岐にわたり、なかにはコルトンプラザさんの事前告知やホームページのイベント情報への掲載が功を奏したのか、図面を持参された相談者さんもいらっしゃいました。その他にも、市川工業高校の学生さんの研究成果等の展示や、建築士の日頃の仕事への取り組みや地域資源マップ等の展示も来場者の方々がじっくりとご覧になっていたようです。

今回の企画は、3回目という事もありイベントの全体的な流れもスムーズで、来場者や通りがかりの方々まで建築士を知って頂く良い機会になったのではないかと思います。最後に、今回御協力いただきました、コルトンプラザの御担当者様・東京造形大学の学生さんと助手さん・千葉県立市川工業高校の学生さんや先生方、ありがとうございました。

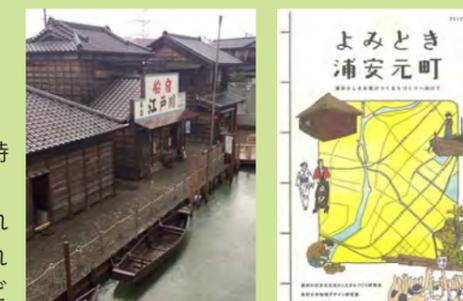


## ■浦安の歴史と元町散策■ 小森 健一郎

○開催日時：2019年10月22日（祝） ○開催場所：浦安市郷土博物館&浦安元町  
○参加人数：会員13名、講師1名 ○担当：事業委員会

浦安駅前集合からおさんぽバスで浦安市郷土博物館へ皆で移動。館内は漁師町だった当時の生活の様子が展示されており貝むきの道具や埋立前からの航空写真などを見学しました。屋外へ出ると昭和初期のタバコ屋や魚屋等の建物や川に橋を架け街並みがリアルに再現されている場所がありタイムスリップしたようでした。そこでは子供の頃に見た風景が呼び起されて童心にかえった人がけん玉で遊びだしたり、熱心に昔の建物の構造などを見学する人などで賑わってました。その後は貝採り用の「ベカ舟」がどうやって作られているかを展示ブースで見学し、舟を造るときに取って側板を反らせて造る意味や、水が入ってこない工夫など普段の建築的な考え方では思いつかない発見があってなかなか面白かったです。

午後は「よみとき浦安元町」を編集し、第10回まちづくり賞を受賞したTIT一級建築士事務所の池田晃一氏を講師としてお迎えし、浦安市内にある有形文化財の旧家を見学したり、市有地が現在空地になっていて今後の活用方法などについて話し合いながら散策しました。かつては境川を中心に貝むきや海苔の加工で栄えたロジがあり地域のコミュニティーを形成していたそうです。境川沿いの手焼せんべい屋さんにも立ち寄り懐かしい味を堪能しました。この地に縁のある我々支部会員も改めてこの土地のルーツを知り、今後の街並みを形成していく責任を改めて実感できる一日でした。



差出人・発行元：千葉県建築士会市川・浦安支部

事務局：〒272-0823 市川市東菅野 1-13-8 株式会社 堀川設計舎内  
TEL 047-702-3681 FAX 047-702-3682

千葉県建築士会 市川・浦安支部HP  
http://www.kenchiku-ichikawa-urayasu.com/

※建築士会について、支部活動の予定、お知らせ、年会費、入会等の詳細のご案内は支部のHPをご覧ください。